

令和元年度 環境人材育成教育プログラム 授業計画

令和元年9月

(注) 授業の順番は変更することがあります。

【学域／副専攻「環境学」】

環境・生命・倫理 前期木曜 教室:B3棟118室

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月11日	イントロダクション	大塚 耕司	
2	4月18日	サヘル地域における「砂漠化」言説の構築とその帰結	宮脇 幸生	
3	4月25日	アフリカにおける環境思想と環境倫理	宮脇 幸生	
4	5月9日	スラム化する都市と砂漠化	宮脇 幸生	
5	5月16日	女性性器切除廃絶運動と草の根の抵抗	宮脇 幸生	
6	5月23日	エチオピアにおける土地収奪と牧畜民の対応	宮脇 幸生	
7	5月30日	「長期脳死」問題が明らかにした「生命と死」をめぐる臓器移植の問題	山崎 真也	
8	6月6日	体外受精が開示した親子問題、生殖の脱セックス化と商品化の問題1	山崎 真也	
9	6月13日	体外受精が開示した親子問題、生殖の脱セックス化と商品化の問題2	山崎 真也	
10	6月20日	再生医学研究（クローン技術等）の研究倫理の問題1	山崎 真也	
11	6月27日	再生医学研究（クローン技術等）の研究倫理の問題2	山崎 真也	
12	7月4日	「環境」とは何か?	上柿 崇英	
13	7月11日	「自然」、「エコ」とは何か?	上柿 崇英	
14	7月18日	「持続可能」とは何か?	上柿 崇英	
15	7月25日	「自然」、「エコ」とは何か?	上柿 崇英	
15	7月25日	地球環境問題	地球温暖化が引き起こしている諸問題	大塚 耕司

環境学と社会科学への招待 後期 教室:B3棟117室

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	10月3日	イントロダクション	遠藤 崇浩	
2	10月10日	経済活動と環境	環境問題の性質	遠藤 崇浩
3	10月17日	経済活動と環境問題	遠藤 崇浩	
4	10月24日	環境法の基本的な考え方	千葉 直愛	
5	11月7日	環境と法	環境保護と法政策	千葉 直愛
6	11月14日	環境保護と裁判	千葉 直愛	
7	11月21日	企業経営と環境	経営と環境戦略	津戸 正広 (大阪ガス)
8	11月28日	経営と持続可能性	津戸 正広 (大阪ガス)	
9	12月5日	企業の社会的責任	津戸 正広 (大阪ガス)	
10	12月12日	古代の人間中心思想ー「オイコス」をめぐって	津戸 正広	
11	12月19日	環境学と経済発展	中世から近代へー生産力の発展と自然の開発	津戸 正広
12	12月26日	産業革命ー大規模生産の出現と環境への深刻な影響	津戸 正広	
13	1月9日	環境学と社会学	暮らしとの関わりから環境を考える	藤田 渡
14	1月16日	環境をめぐるさまざまな知識	藤田 渡	
15	1月23日	環境をめぐる政治	藤田 渡	

自然環境学概論 後期 木5コマ 教室:B3棟117室

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	10月3日	人間活動と環境への影響①	地球の自然と環境問題、講義の導入	横山 良平
2	10月10日	自然環境と生態系①	生態系の概念	北宅 善昭
3	10月17日	地球環境の化学	地球環境の化学	竹中 規訓
4	10月24日	人間活動と環境への影響②	手付かずの自然ー南極の科学	竹中 規訓
5	11月7日	自然エネルギーの発生と利用	自然エネルギーの発生と利用	横山 良平
6	11月14日	環境修復と自然再生	生態系の機能と遷移	平井 規央
7	11月21日	生物多様性とその危機要因	生物多様性とその危機要因	平井 規央
8	11月28日	生物多様性のモニタリングと保全	生物多様性のモニタリングと保全	平井 規央
9	12月5日	持続可能性と循環型社会	産業活動と資源循環	小西 康裕
10	12月12日	都市と物質循環	都市と物質循環	小西 康裕
11	12月19日	自然環境と生態系②	生態系における物質循環	北宅 善昭
12	12月26日	生態系の現状と保全	生態系の現状と保全	北宅 善昭
13	1月9日	バイオマスの利用	バイオマスの利用	北宅 善昭
14	1月16日	人間活動と環境への影響③	地表面のエネルギーバランス	吉田 篤正
15	1月23日	都市熱環境の改善対策	都市熱環境の改善対策	吉田 篤正

地域環境活動演習 通年 割外

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月20日	環境活動の重要性	環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司
2	4月20日	グループ分け	1グループ4～10名で構成されるグループに分ける (6グループ程度を想定)	大塚 耕司 遠藤 崇浩 平井 規央 上田 昇平 後藤 清史 北田 博昭
3	4月20日	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。	
4	4月20日	環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。	
5	4月～11月	環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
6	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
7	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
8	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
9	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
10	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
11	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
12	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
13	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
14	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
15	12月7日	成果発表会	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) を行う。また、ポトフォリオを提出する。	
16	12月21日	最終報告提出	活動報告書を提出する。	大塚 耕司

4月20日(土)、12月7日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)

【大学院／「国際環境活動プログラム」】

国際環境学特論 前期 木3コマ／(A5棟204教室)A6棟303室

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月11日	オリエンテーション	サステイナビリティとシステム発想型問題設定力・解決力	大塚 耕司
2	4月18日	アジアの感染症	アジアの国々における感染症とその感染予防対策	山崎 伸二
3	4月25日	暮らしの変化と環境問題	身近な暮らしの変化とそれにより発生した環境問題	中村 治
4	5月9日	開発途上国における環境汚染問題と対策	開発途上国における環境汚染問題と対策	大塚 耕司 (JICA)
5	5月16日	開発途上国における経済発展と環境問題	開発途上国における廃棄物問題と循環型社会形成支援	大塚 耕司 (JICA)
6	5月23日	ワークショップ	ワークショップ	大塚 耕司 (JICA)
7	5月30日	環境問題への教育的アプローチとその国際的潮流	環境教育からESDへー実践！体験！ESD (ワーク1)	若林 身歌
8	6月6日	実践！体験！ESD (ワーク2)	実践！体験！ESD (ワーク2)	若林 身歌
11	6月13日	国際的な環境問題とその解決に向けた企業の取り組み事例	低炭素社会実現に向けた企業の取り組み	大塚 耕司 (関西電力)
12	6月20日	ワークショップ	ワークショップ	大塚 耕司 (関西電力)
13	6月27日	国際的な環境問題における環境行政の役割	地方自治体における環境行政と国際協力	大塚 耕司 (府立環境農水研)
12	7月4日	ワークショップ1	ワークショップ1	大塚 耕司 (府立環境農水研)
13	7月11日	ワークショップ2	ワークショップ2	大塚 耕司 (府立環境農水研)
14	7月18日	アジア諸国の環境問題と日本の関わり	日本における自然観と植林事業、国家イメージや国家間の偏見	杉山 雅夫
15	7月25日	日本とアジアにおける市場経済の結び付き、グローバルな影響と資源配分	日本とアジアにおける市場経済の結び付き、グローバルな影響と資源配分	杉山 雅夫

第2回以降の教室はA6棟303 (ラーニングcommons)

環境コミュニケーション特論 後期 火3コマ／A5棟306教室

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	10月1日	講義ガイダンスおよびイントロダクション	竹中 規訓	
2	10月8日	基礎コミュニケーション英語と環境英語	竹中 規訓	
3	10月15日	環境に関する基礎英語	コミュニケーション英語	竹中 規訓
4	10月22日	環境英語の聞き取りと英語でのディスカッション	環境英語の聞き取りと英語でのディスカッション	竹中 規訓
5	11月5日	ベトナム語会話入門1	ベトナム語会話入門1	吉本 康子
6	11月12日	ベトナム語会話入門2	ベトナム語会話入門2	吉本 康子
7	11月19日	ベトナムの歴史と文化	ベトナムの歴史と文化	吉本 康子
8	11月26日	ベトナムの対外関係と日本	ベトナムの対外関係と日本	吉本 康子
9	12月3日	ベトナムにおける大気汚染及び水質汚濁の現状	ベトナムにおける大気汚染及び水質汚濁の現状	竹中 規訓
10	12月10日	ベトナム小中学生への環境教育	ベトナム小中学生への環境教育	大塚 耕司
11	12月17日	ベトナムの森林環境	ベトナムの森林環境	北宅 善昭
12	12月24日	模擬環境保護活動演習1	模擬環境保護活動演習1	竹中 規訓
13	1月14日	国際環境活動の模擬演習	模擬環境保護活動演習2	竹中 規訓
14	1月21日	発表準備	発表準備	竹中 規訓
15	1月28日	発表会	発表会	竹中 規訓

国際環境活動特別演習 通年 割外

回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月27日	環境活動の重要性	国際環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司
2	4月27日	グループ分け	1グループ4～8名で構成されるグループに分ける (2グループ程度を想定)	大塚 耕司 北宅 善昭 竹中 規訓
3	4月27日	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。	
4	4月27日	環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。	
5	4月～11月	環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
6	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
7	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
8	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
9	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
10	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
11	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
12	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
13	4月～11月	環境活動実践 (活動の実施)	グループごとに環境活動を実施する。	
14	12月7日	成果発表会	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) を行う。また、ポトフォリオを提出する。	
15	12月21日	最終報告提出	活動報告書を提出する。	

4月20日(土)、12月7日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)